

扱、白き巾布の上に美濃紙みののがみをしきて、白味のこしたるを伸しおき、黄味を其中央なかに長くして入れて白味にて包つつひ仕方になし、美濃紙は包みながらぬきて上うへにのみまぐやうにして、其上を布巾にて包みて、六方より細き板をあて、糸にてしかとまきしめて、蒸籠せいろうに入れてむすべし。

ひしたるを取上て、布巾をとき紙を去て木口こぐちより切てつかふべし、六角に、真中に黄味丸く見えたり。名稱は龜甲玉子かめこうたまごといふべし、前まへの拵方しへかたはてがるにして味はすくなし、後の仕方はておもなれど、味は多くしてうまし。

いふことをきかぬ子供

林 ふ み

私は、昨年まくねんの春新はるあたらに幼稚園ようちえんに入りました子供こども、三

十人じゅうにんを世話して居ります、此の子供達こどもたちは色々いろくでございまして、中には實じつに子供こどもらしい無邪氣むじゃきなのもありません。また、小供こどもには不ふに合あひな程ほどおどなびたのもあります。また、花はなのやうでも申しませうか何時いつも、にこ／＼と、うれしうな顔かほをして飛びはねて居るのもあります。また、じつとして何なにとなく沈しづんで居るのもあります。また少しも泣なかない子供こどもがあるかと思へば随分ずぶんよく泣なく子こもあります。また、すなはで、おどなしいのもあり、いふことを聞かぬのもあります。

斯か様に色々いろくとございしますが、來た初はじめてに、格別かくべつにいふことを聞かぬ女兒むすめが一人ひとりとございました。其そのの時とき分ぶん其そのの子こ供どもは呼よばれても返辭へんじをいたしません。朝あさまゐつてお辭ひ儀ぎもいたしません。積木つみきをあげますから、いらつしやいと言いふてもまゐりません。六球ろくきゅうなとわけ與あたへますと直ちかにはり出してなげつけます。鼻汁はなぐが出て居るから、と

つてあげませうと言ふても、いやといつて頭を振りま
す。一度泣き出しますと何にしても、かたなくつて動
きません。申すまでもなく他の子供と一緒に遊ぶこと
もなければ、同じ腰掛に腰もかけません。實に何處か
ら手を出して、どんなに取扱つてよいやら、一向分り
ませんでした。

まかしまづ次のやうに取扱つてためして見ました。

第一は十分にこの子供を愛するまでござひます。こ

れは、どんな人を教育するのにても必要でございま

せうが特に幼児を教育するには大切でござひます。

また別して悪い子供を取扱ふのに大切でござひま

す。若しも其悪をにくむのでなくて少しでも其子供

を厭ふ様な心があつたならば、これは、もはや子供

をよくすることの出来ぬ徴と思つて間違はありませ

ん。決して、にくいと思つて育てる子供のよくなる

ことはありますまい。是に引きかへて十分子供を愛
しましたならば、だん／＼と子供はなついてまゐり
まして、知らず／＼の間によい方に向ひます。眞に
この子供は愛しましたので、だん／＼すなはであた
／＼かになりました。

第二は言ひつけることは極々少くにして、一度言ひ
つけたことはどんなにしても行はせることとござひ
ます。前に申した様な子供でござひますから、あれ

これと申せば申すだけ無益でござひます。また、

言はれて、せぬことが度重なる丈子供に言ふことを聞

かね弊が付きますから、不爲でありませす。そこでま

づ幼稚園にまゐりました時と、歸ります時とにお辭

儀をされるといふ只一つの事をさせやうと思ひまして

他の事はするまゝにほつて置て、これ丈に骨折りま

した。所が只一つのお辭儀でござひますがなか／＼

いたしませせん。遂には仕方がありませんから、頭を押へてやつとさせます。斯様にして、やうやく一月餘り後に自分からすることが出来るやうになりました。此時の私のうれしさは何とも申されませんでした。次にさせましたのは返辭をすることでございす。これもお辭儀と同じで初めは随分つかしうございしましたが間もなく出来ました。斯様にしてさせることの數をましました。

第三は言ふことを聞かぬと自然に面白くない結果のあるものであることを知らせることでございす。

か様な子供に特更に苦みを與へることはよくありません。却て、益言ふことを聞かぬやうになりますから、言ふことを聞かぬと自然にわるい結果のあることを知らせるのがよろしうございす。そこで積木をあげませうと言ふても來なければはつて置きま

す、そうすると他の子供達が家とか、汽車とか、畑出とか言つて面白そうに積て居るのを、だまつて見て居なければなりません。また、食事のとき室に行きませうと言ふても、聞かなければ、其儘庭に置きます。そうすると腹が空きますから自分でのこくど入て来る様になりました。

第四は此方が極めて、すなはにわたること、ございす。此方では非させやうと思つて居ることは別でございす。其他の事で例へば「先生草とつて頂戴」など言ふことがありませすれば快くどつてやりませう。「あちらに行つて遊びませう」といへば直ぐに一緒に行ませう。「ばつたをとりませう」といへば喜んで共にどります。

斯様にして世話して居りましたが、次第によくなりました。只今では全たく普通の子となつて、他の子供

達と樂しそくに遊んで居ります。これは前申しました
四箇條の取扱方がさうめがあつたとおもはれますが、
特に第一と第四の條件が大切であつた様に考へられま
す。

そうして見ますと、この女の兒がいふことを聞か
なくなつたものは色々ありませうが、重に次のやうなこ
とでございませう

一、子供に與へる命令が、時によつて色々とかはつ
て、始終一貫しないこと。

一、子供不相應に命令の數が多いこと。

一、子供を愛することの足ぬこと。

一、子供が言ふことをきかぬ時に不自然に強情な仕
方で無理にさせやうとすること。

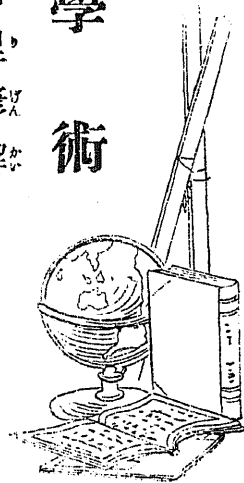
言ふことを聞かぬ幼兒にも色々ございませうが、右
は只一人の子供についての觀察と經驗でございませう。

あつらへし天氣なりけり花ぐもり

學術

英語俚諺解

擊水生



はしがき

俚諺といふものは、大變な眞理を、ごく卑近に述べ
て、誰にでも分りやすくしてゐるもので、至極面白い
ものである。さこの國にでも、これはあるものであ
るが、國が違ひ、風俗が異なるに従つて、自ら、違
つた俚諺が出来て居るのであるから、ある國の俚諺